

交通バリアフリー教室 in 水戸市立見川小学校

茨城運輸支局では、令和6年10月15日（火）に水戸市立見川小学校の4年生84名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年10月15日（火）9:35～11:45
- 場 所：水戸市立見川小学校
- 参加者：4年生 84名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- まとめ
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)

参加者の感想

- ・介助者は（障がい者）本人がケガをしないように気をつけなければいけない
- ・（障がい者を）安心させる言葉を言える人になりたい
- ・（車いすが乗車できるように）バスの椅子が上がるのがビックリした
- ・これからは進んで車いすの人をお手伝いする
- ・車いすに乗っている人がどのくらい大変なのかが分かった
- ・手伝いますか、と声をかけることが大切なことが分かった
- ・介助は難しく大変だけど、人助けができて嬉しい
- ・車いすの人たちに楽しくバスに乗ってほしいからできることだけでも手伝ってあげる
- ・みんなで力を合わせて安全、安心のできる暮らしにしてあげたい
- ・運転手さんはこうやってみんなの安全を見守っているんだなと思った